

第151期

中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで



株式会社 **ニッカトー**

証券コード：5367

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素は格別のご支援をたまり厚く御礼申し上げます。

ここに第151期第2四半期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当第151期第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、「緊急事態宣言」の全面解除により、緩やかではありますが経済活動が回復に向かいつつも、「第2波」に伴う不確実性の高まりが企業活動を萎縮させ、設備投資や生産の調整等余儀なくされました。また、感染防止のための消費活動の制限及び未だ方向性が見えない米中貿易問題等々、先行きを見通すことが困難な状況下にあります。

このような状況の中、主力のセラミックス事業は、「緊急事態宣言」解除以降の事業活動を感染症対策を講じたうえで徐々に回復させているものの4月・5月の休業の影響に加え、宣言解除後も新型コロナウイルスの影響により営業活動に制限が続いていることにより前年同期比16.9%減収の3,231,258千円となりました。市場別構成比率では、電子部品向け60.7%、化学・窯業向け10.0%、環境・エネルギー向け4.2%となりました。一方エンジニアリング事業につきましても同様に営業活動に制限を受けていることに加え客先の設備投資の低迷の影響により前年同期比19.6%減収の905,988千円となりました。市場別構成比率は電子部品向け29.3%、自動車・重機向け21.1%、環境・エネルギー向け20.3%となりました。結果当第2四半期の売上高合計は、前年同期比17.5%減収の4,137,246千円となりました。

損益面につきましては、セラミックス事業は休業及び減収による工場稼働率の低下、近年の積極的な設備投資による減価償却費負担の増加によりセグメント利益は前年同期比75.0%減益の131,986千円となりました。エンジニアリング事業も固定費の削減及び利益率の改善に取り組んでいるものの減収の影響を吸収するには至らず3,876千円のセグメント損失（前年同期は19,469千円の損失）となりました。この

結果、営業利益は前年同期比74.8%減益の128,110千円となり、経常利益は前年同期比64.9%減益の195,843千円、四半期純利益も前年同期比64.5%減益の133,355千円となりました。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの「第2波」及び米中貿易摩擦問題等不透明な状況は変わらず、まだまだ予断を許さない状況下でありますとともに、本来の事業活動は今下期後半以降と考えております。当社の主力マーケットである電子部品メーカーの需要は伸長していくものと考えておりますが不確定要素も多く、市場環境が大きく変動する可能性も否定できませんが、当社は将来に向けた必要な投資は躊躇せずに推し進め、生産性及び生産効率の改善に注力し、主力マーケットの将来需要に備えるものであります。

第151期の業績につきましては、当初予定通り売上高90億円、営業利益3億5千万円、経常利益3億7千万円、当期純利益2億6千万円と変更ございません。

当第2四半期の配当につきましては、予定通り1株について3円とさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻をたまわりますようお願い申し上げます。



取締役社長

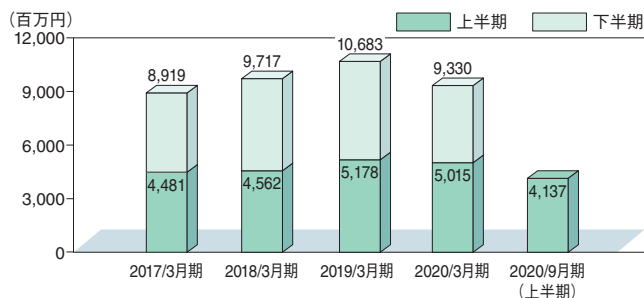
大西宏司

業績の推移

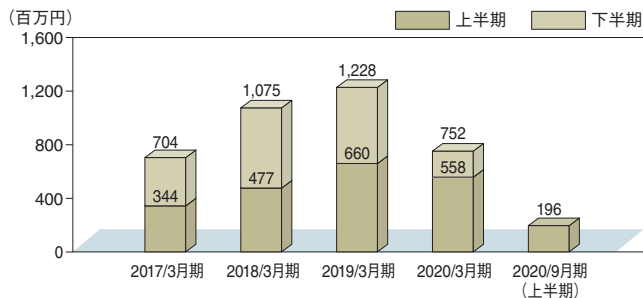
項目	2018年3月期 第148期	2019年3月期 第149期	2020年3月期 第150期	2019年9月期 第150期	2020年9月期 第151期
受注高(千円)	10,472,980	11,002,562	8,795,024	4,617,266	3,889,857
売上高(千円)	9,716,607	10,682,834	9,329,618	5,014,906	4,137,246
経常利益(千円)	1,074,881	1,228,320	752,367	558,272	195,843
四半期(当期)純利益(千円)	751,964	791,491	441,068	375,426	133,355
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	63.00	66.31	36.95	31.45	11.17
純資産(千円)	10,569,600	10,888,836	10,865,165	11,056,485	11,066,394
総資産(千円)	14,639,969	15,080,961	15,220,841	14,709,101	15,257,969
総資産経常利益率(%)	7.6	8.3	5.0	—	—
自己資本当期純利益率(%)	7.4	7.4	4.1	—	—
売上高営業利益率(%)	10.6	10.9	7.1	—	—

※税効果会計に係る会計基準の一部改正に伴う表示方法の変更により、第148期の数字を組み替えて表示しております。

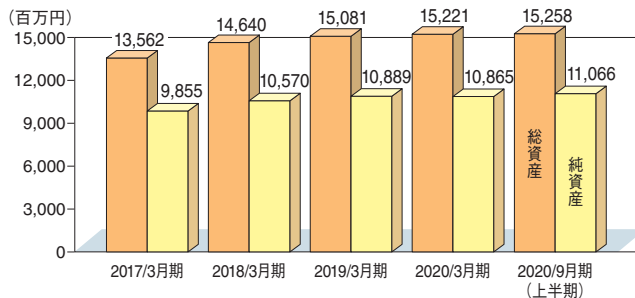
売上高



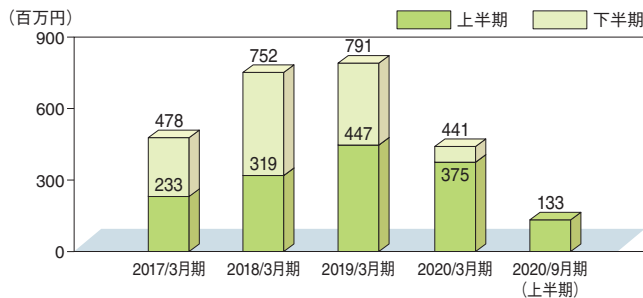
● 経常利益



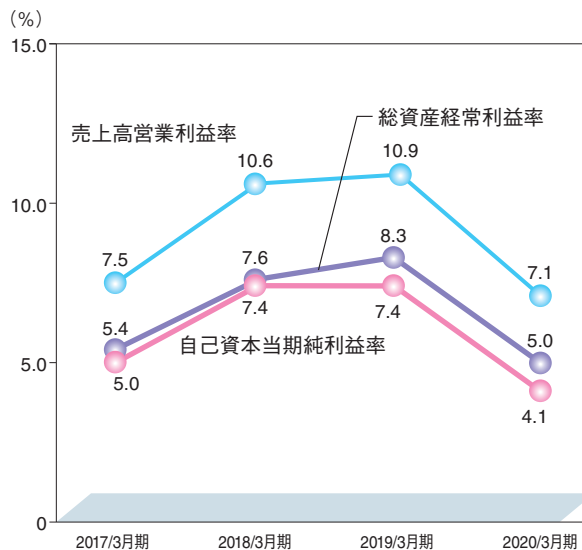
● 総資産・純資産



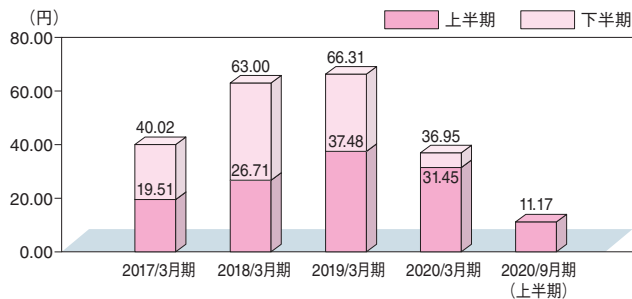
● 四半期(当期)純利益



● 自己資本当期純利益率、総資産経常利益率と売上高営業利益率



● 1株当たり四半期(当期)純利益



中間貸借対照表

資 産 の 部			
期 別 科 目	当第2四半期 (2020年9月30日現在)	前第2四半期 (2019年9月30日現在)	前 期 (2020年3月31日現在)
流動資産	8,546,311	8,306,414	8,338,649
現金預金	2,742,172	2,038,802	2,410,596
受取手形	540,225	870,822	653,444
電子記録債権	568,707	527,040	588,800
売掛金	1,743,724	1,906,097	1,837,695
商品・製品	1,282,121	1,016,011	1,242,085
その他のたな卸資産	1,493,615	1,889,377	1,523,459
その他	175,745	58,262	82,567
固定資産	6,711,657	6,402,687	6,882,191
有形固定資産	4,823,006	4,380,790	5,032,631
建物	1,418,937	1,471,498	1,468,106
機械装置	1,378,476	1,504,245	1,532,604
土地	943,668	790,962	943,668
その他	1,081,923	614,084	1,088,251
無形固定資産	135,702	92,603	146,842
投資その他の資産	1,752,947	1,929,293	1,702,717
投資有価証券	1,625,621	1,811,842	1,544,590
事業保険掛金	16,138	15,643	16,135
繰延税金資産	—	—	62,369
その他	111,187	101,808	79,622
資産合計	15,257,969	14,709,101	15,220,841

(単位：千円未満切り捨て)

負債の部			
期別 科目	当第2四半期 (2020年9月30日現在)	前第2四半期 (2019年9月30日現在)	前 期 (2020年3月31日現在)
流動負債	2,767,088	3,332,280	2,888,260
電子記録債務	321,339	381,525	283,759
買掛金	1,084,644	1,395,237	1,102,031
短期借入金	400,000	400,000	400,000
1年以内返済予定の長期借入金	248,392	23,500	220,892
未払消費税等	99,641	—	—
未払法人税等	89,432	167,773	10,376
賞与引当金	216,800	293,500	219,400
その他	306,838	670,744	651,801
固定負債	1,424,485	320,335	1,467,415
長期借入金	1,128,716	—	1,178,412
役員等退職慰労引当金	170,703	156,895	163,787
預り保証金	67,569	77,563	67,569
資産除去債務	42,338	41,750	42,104
繰延税金負債	11,288	—	—
その他	3,870	44,126	15,542
負債合計	4,191,574	3,652,616	4,355,676
純資産の部			
株主資本	10,636,813	10,700,612	10,634,770
資本金	1,320,740	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,225,438	1,225,438	1,225,438
資本準備金	1,088,420	1,088,420	1,088,420
その他資本剰余金	137,017	137,017	137,017
利益剰余金	8,178,153	8,241,743	8,176,090
利益準備金	205,810	205,810	205,810
その他利益剰余金	7,972,343	8,035,933	7,970,280
別途積立金	5,100,000	5,100,000	5,100,000
繰越利益剰余金	2,872,343	2,935,933	2,870,280
自己株式	△87,518	△87,310	△87,498
評価・換算差額等	429,580	355,873	230,394
その他有価証券評価差額金	429,580	355,873	230,394
純資産合計	11,066,394	11,056,485	10,865,165
負債および純資産合計	15,257,969	14,709,101	15,220,841

中間損益計算書

(単位：千円未満切り捨て)

科 目 \ 期 別	当第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	前第2四半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	前 期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
売 上 高	4,137,246	5,014,906	9,329,618
売 上 原 価	3,358,099	3,802,515	7,303,895
売 上 総 利 益	779,146	1,212,390	2,025,723
販売費および一般管理費	651,036	704,956	1,359,294
営 業 利 益	128,110	507,433	666,429
営 業 外 収 益	80,986	56,250	99,724
営 業 外 費 用	13,253	5,411	13,786
経 常 利 益	195,843	558,272	752,367
特 別 利 益	—	—	11,887
特 別 損 失	738	6,941	118,489
税引前四半期(当期)純利益	195,104	551,330	645,764
法人税、住民税および事業税	76,000	151,000	184,000
法 人 税 等 調 整 額	△14,250	24,903	20,695
四半期(当期)純利益	133,355	375,426	441,068

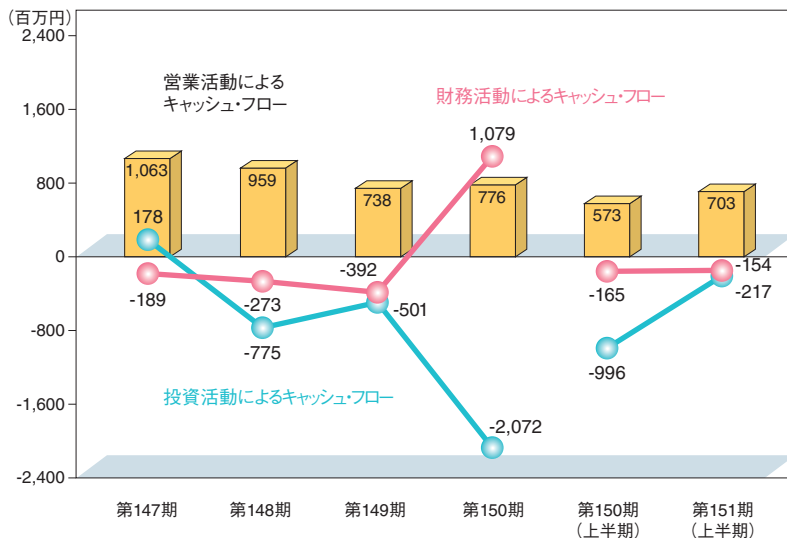
当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は2,742,172千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、政府の「緊急事態宣言」発令による休業及び宣言解除後も営業活動に制限を受けた影響により税引前四半期純利益が195,104千円と前年同期比356,225千円(64.6%)減少いたしました。一方で、減収に伴う工場稼働率の低下により棚卸資産の増減額は△10,191千円と前年同期比269,759千円(96.4%)支出が減少いたしました。結果、営業活動によるキャッシュ・フローは703,011千円と前年同期比130,455千円(22.8%)収入が増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、企業活動に制限を受けた影響もあり新規の設備投資が減少したことによる支払いの減少により有形固定資産の取得による支出が△358,128千円と前年同期比609,283千円(63.0%)減少いたしました。結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△217,377千円と前年同期比778,163千円(78.2%)支出が減少いたしました。



(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、新たに長期借入金の借入を行ったことにより長期借入金による収入が100,000千円増加いたしました。結果、財務活動によるキャッシュ・フローは△154,057千円と前年同期比11,392千円(6.9%)支出が減少いたしました。

トピックス

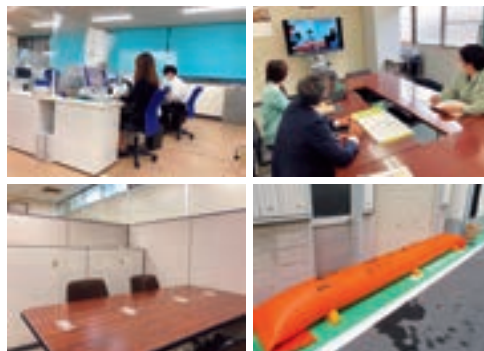
【新型コロナウイルス感染症対策等の取組について】

上半期は新型コロナウイルス感染症拡大により、大阪・東京などの主要都市に拠点を置く当社におきましても休業や変則勤務を余儀なくされ、ステークホルダーのみなさまには大変ご迷惑をおかけすることになりましたことを深くお詫び申し上げます。

新型コロナウイルスは、「第2波」到来に加えインフルエンザウイルスとの同時流行など更なる感染症拡大が懸念されておりますが、当社でもこれらの感染症拡大防止への取組としてあらゆる対策を講じております。

まず、入門者の体温管理やマスク着用に加え、時差出勤の導入や通勤手段変更の推奨、事務所では仕切り板を設置しソーシャルディスタンスの確保に努めております。また、日々の活動においてはWEBシステムを導入し新卒採用対象者への会社説明会や社内ミーティング、営業部門ではお取引先様との打ち合わせに活用し、新たな仕事様式へ変革を行っております。

また、ゲリラ豪雨等の対策として水のう型浸水防止システムを導入し、自然災害にも備え、BCPの取組強化を実施しております。



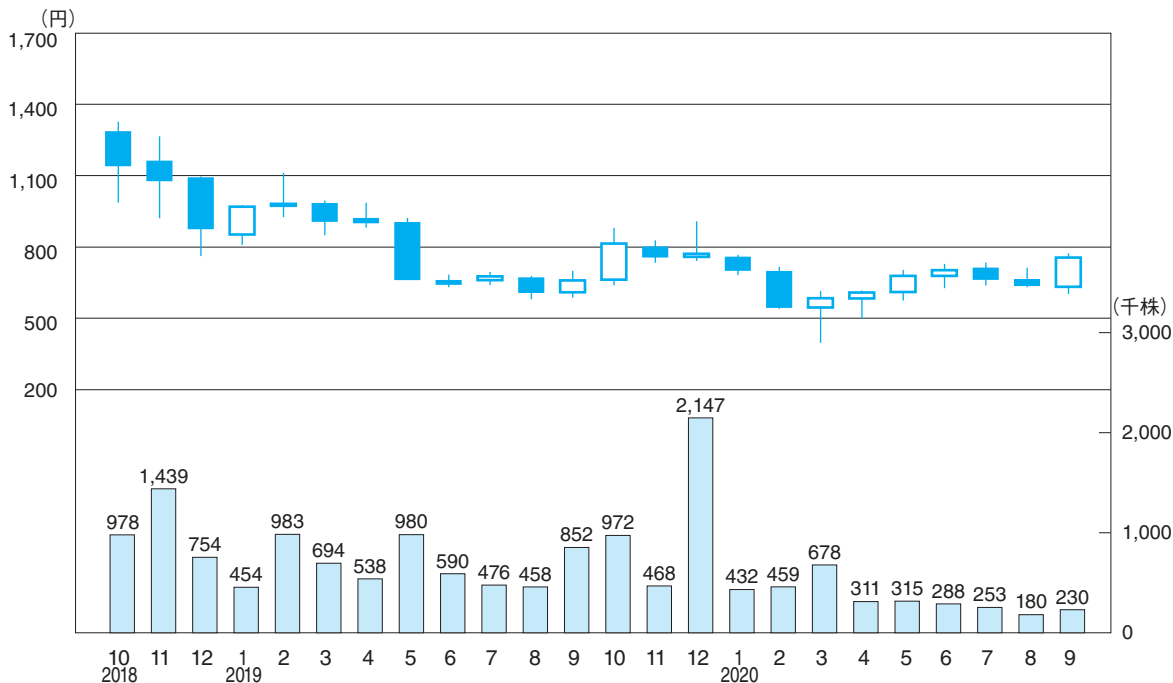
株式の状況 (2020年9月30日現在)

● 発行可能株式総数
37,280,000株

● 発行済株式総数
11,935,671株
(自己株式200,024株を除く。)

● 株主数
2,899名

● 株価・株式売買高



● 大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
ニッカトー取引先持株会	691	5.6
東ソー株式会社	599	5.0
株式会社チノール	574	4.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	510	4.3
株式会社みずほ銀行	499	4.2
ニッカトー従業員持株会	444	3.7
株式会社共和電業	400	3.4
朝日生命保険相互会社	353	3.0
株式会社ツバキ・ナカシマ	300	2.5
西村隆	288	2.4

当社は自己株式200,024株を保有しております。

会社の概要 (2020年9月30日現在)

NIKKATO

- 創業 大正2年6月
- 資本金 13億2,074万円
- 事業の内容 セラミックス及び計測機器・加熱装置の製造・販売
- 事業所

本社	〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号	☎(072)238-3641
東京管理本部	〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目7番12号(NKビル新大塚)	☎(03)5978-3500
セラミックス営業本部	〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号	☎(072)238-4681
名古屋営業所	〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄2丁目2番1号(イノフィスビル)	☎(052)269-2440
九州営業所	〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2丁目11番13号(古河大名ビル)	☎(092)736-1285
厚木営業所	〒243-0018 神奈川県厚木市中町1丁目8番24号(リバーサイドビル)	☎(046)296-1155
堺工場	〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号	☎(072)238-3643
東山工場	〒599-8247 大阪府堺市中区東山670番地	☎(072)278-0385

役員 (2020年9月30日現在)

代取	表縮	取役	縮会	役員	西村	隆	取	縮	役	濱田	悦男
取	縮	取	縮	長	大西	宏	取	縮	役	原田	俊和
取	縮	縮	社	長	山久	道	取	縮	役	山崎	直
取	縮	縮		役	安岡	廣	※取	縮	役	西村	元昭
取	縮	縮		役	土井	祐二	※取	縮	役	白間	真次

(注) 取締役のうち山崎直、西村元昭、白間真次の3名が監査等委員である取締役(うち※印の取締役は社外取締役)であります。

会計監査人 清稜監査法人

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 6月
配当金受領 期末配当金 3月31日
株主確定日 中間配当金 9月30日
公告方法 電子公告とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL (<https://www.nikkato.co.jp/>)

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

(未払配当金の支払い、支払明細等の発行に関するお手続き)

〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行 証券代行部
0120-288-324 (通話料無料)

(証券会社に口座をお持ちの場合の各種お手続き)

お取引の証券会社

(特別口座に入っている場合の単元未満株式の買取等のお手続き)

〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行 証券代行部
0120-288-324 (通話料無料)